

七組のみなさん、

ご成人おめでとうございます。この日をどんなに待ちわびたことでしょうか。きっとたくましく、立派に成長されたことでしょう。その姿を一目見て、お祝いを申し上げたい、そして、人生の節目の日を喜び合いたい気持ちでいっぱいです。しかし、私事ですが、前々より予定していた県外への出張のため、直接お会いしてお祝いの言葉を伝えられないこと、まずもってお詫び申し上げます。

みなさんが中学校を卒業された日を、今でも昨日のこのように思い出します。まだ幼さの残る中学生だったみなさん。あれから五年。これまでどんな日々を過ごされてきたでしょう。新しい環境、たくさん人との出会いや別れの中で、楽しかったことやつらかったことがたくさんあったろうと思います。コロナウイルス感染症の流行により、今までの日常が一変し、思うように行動できない日々に、もどかしさや悔しさを覚えたこともあったでしょう。

二十年間、これまでの生活を思い返してみてください。もしもみなさんが、今日の日を迎えるまで、誰からも差別されたり、迫害や暴力を受けたりすることなく、自由に行動し、自分の学びたいことを学び、やりたいことをやり、考えたいことについて考えることができていたとするなら、それは「みなさんがたくさんの人によって尊重され、社会によって守られてされてきた」ということを意味します。

もしもみなさんが、これまでスポーツや勉強など、自分自身が努力してきたことに関して、つらいことがあってもなんとか乗り越えることができたり、それらを通して人間として成長することができたと感じることができたとするなら、それは他ならぬみなさんの周りの人が、みなさんのことを「心から愛し、親身になってみなさんのことを考え、その努力をよくやったと認め、その失敗を大丈夫だから頑張れと励まし、毎日毎日あなた以上に心配し、悩み、時に真剣に叱ったり、また時にあなたに気付かれぬように静かに見守ってくださっていた」おかげです。

わたしたちの生活は一人では成り立ちません。わたしたちが学校に行くことができたことや、食事ができたこと、風呂に入ることができたこと、温かい布団で眠れたこと、教科書や筆記用具、カバン等を持ち、毎日学校に通えていたことなど、人間としての最低限の日常を「当たり前」の環境として準備して下さった方々の努力は、決して「当たり前」と呼べるほどたやすいものではありません。その大変さは働きたみなさんならば、身に染みて分かるでしょう。

大人になれるみなさん。どうか、今日という一日を生きていることに感謝してください。みなさんがこれまで、楽しかったり、悔しかったり、嬉しかったり、悲しかったり、色々な感情を抱えながら日々成長し、生きてきたことは、一人では成し得ないものであり、当り前のことではありませんでした。それは、多くの人の支え、「おかげさま」の賜物でした。どうか今日は、支えて下さった方々の顔を、ゆっくりと思い出してみてください。

そして、願わくは近い将来。今度はみなさんが、次の世代やこれから生まれてくる新しい世代を支える力となって行ってください。どうか、小さきものや弱きものをサポートすることができ自分に、誇りをもってください。ひとりひとりの人と向き合い、親身になって話を聞き、励まし、見守り、支えて行ってください。

人にやさしく、あたたかい七組のみなさん。あらためてご成人おめでとうございます。これまで支えて下さった方々への感謝の気持ちを忘れず、どこまでも自分の可能性を信じて、これからも自分の夢に向かって進んで行ってください。みなさんのしあわせな人生を心より祈念いたします。どうかお体に気をつけて、いつまでもお元気で。

ご家族にも「心よりおめでとうございます」とお伝えください。

令和四年一月吉日

伊那市立東部中学校 島崎 豊明